

多文化まちづくりセミナー

となりの人が

日本語を話せなかったら

どうしたらいいの？

多様性がますます広がっていく神戸市をみんなが
住みやすい街につくっていくために市民としてできること
にはどんなことがあるのだろうか

対象：どなたでも歓迎

※KICCのサポーターを希望される方は
このセミナーと裏面の日本語ボランティア
入門講座を受講してください

時間：13:30～16:30

会場：第1回 8/17, 第2回 8/24：

サンセンタープラザ西館会議室（9号室）
神戸市中央区三ノ宮町2丁目11番1

第3回 8/31：

神戸国際会館9階会議室
神戸市中央区御幸通8-1-6

参加費：無料

定員：各回 50名

第1回 8月17日（土）

基調講演：多文化共生とは？

講師 （一財）ダイバーシティ研究所 代表理事
神戸まちづくり研究所 副理事長

田村 太郎

地域で暮らす外国人は国籍や在留資格、年代などが多様化し、直面する課題も複雑になっています。多文化共生のまちづくりを進めるために求められる取り組みについて、全国の事例も交えながら外国人とともに暮らすこれからの地域のあり方について考えます。

第2回 8月24日（土）

多文化共生とボランティア・防災の今

～能登半島地震での現状をふまえて～
講師 神戸市社会福祉協議会 地域支援課 課長

長谷部 治

災害が起こったとき、日本人も外国人も誰もが被災者になり、支援者にもなります。危機的な状況の中、国籍問わず地域のみんなで災害を乗り越えるために知っておくべきことを能登半島地震での支援の経験を踏まえて伝えます。

第3回 8月31日（土）

多文化共生のための「やさしい日本語」

講師 神戸日本語学院主任講師
兵庫県国際交流協会登録講師
がくぽ会 副代表

齊藤 明子

外国語が話せなかったら外国人と会話ができませんか？外国人とコミュニケーションを取る方法の一つに「やさしい日本語」というものがあります。誰にでも使える、この「やさしい日本語」の役割と実際の使い方について、ワークショップも交えて学んでいきます。

申し込みはこちらから（先着順）

各回定員に空きがあれば
開催前日12時まで受付します！



国や文化の違うみんなが居心地のよい
まちづくりのためにできることを理解する

講師紹介



田村 太郎氏

阪神・淡路大震災での外国人被災者支援を機に「多文化共生センター」を設立。自治体国際化協会参事等を経て、2007年に「タイバーシティ研究所」代表として、自治体施策や企業の取り組みを通じた人の多様性に配慮のある社会の形成に携わる。総務省の「多文化共生推進プラン」(2006、2020改訂)や外国人の受入れ・共生に関する関係閣僚会議の「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」(2022)の策定に有識者として関わるほか、自治体の多文化共生やタイバーシティに関する指針の策定にも数多く携わる。



長谷部 治氏

岐阜県関市出身、大学3年時に発生した阪神・淡路大震災を契機に神戸で災害ボランティア活動を開始。翌年、長田区社会福祉協議会に入職し福祉教育・ボランティア学習やボランティア活動の推進、災害ボランティア活動の支援等を担当。現在は社会福祉法人神戸市社会福祉協議会で地域支援部担当課長を務める傍ら全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員(2023～)特定非営利活動法人FMわいわい理事(2012～)神戸市教育委員会学校防災アドバイザー(2011～)等でも活動中。



齊藤 明子氏

様々な立場で来日する外国人の方々と日本人が共生して暮らせる社会を目指して日本語・日本文化の教育に携わっている。大人に限らず子どもの日本語、生活のための日本語、また日本人には「やさしい日本語」の普及活動、ボランティア養成などにかかわっている。

本セミナーに興味を持ってくれた方へ

日本語学習のサポート
について学んでみませんか?

日本語ボランティア入門講座 開催!

開催日：2024年10月13日(日)、27日(日)、
11月10日(日)、24日(日)

時間：10:30～12:30(休憩) 13:30～16:30
講座内容：KICCや地域で日本語ボランティアを

目指す方のための研修

開催場所：神戸国際コミュニティセンター 新長田1F

対象者：神戸市在住で日本語学習支援の活動を
希望される方

募集人数：20名